

【3-14】

湾・灘の区分	播磨灘・備讃瀬戸
取組の名称	自然海浜・文化遺産等を活用した環境学習
事業期間	事業期間:平成 28 年～
事業体制	岡山県環境文化部環境管理課、備中県民局地域政策部環境課
事業の背景・目的	瀬戸内海の環境保全や自然に対する感性を育むため、海とのふれあいを確保し、その利用や理解を促進する。
事業場所の詳細	岡山県内
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子を対象に、自然海浜保全地区内で海ごみの回収と磯生物の採集を行い、海ごみの現状や自然海浜の多様な生物及びその場所の水質の状況等について調査する体験学習を開催する。 ・体験学習を行った海浜において、採捕した生物を表示する看板を設置する。 ・砂浜の場所、海遊び方等を示したリーフレット作成する。 <div style="text-align: center;">  <p>自然海浜啓発用リーフレット</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生物の分類・同定の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>離島の古民家での講習</p> </div> </div>
取組による効果・影響及びその判断基準等	事後アンケートにより理解度や満足度を調査している。
現状での課題	参加者の事後の行動変容の把握、結果の測定。
今後の予定等	自然や文化を題材とした体験型プログラムを推進
取組事例についての発表資料等	瀬戸内海環境保全小委員会(第 15 回)資料
情報提供元	岡山県環境文化部環境管理課、備中県民局地域政策部環境課